



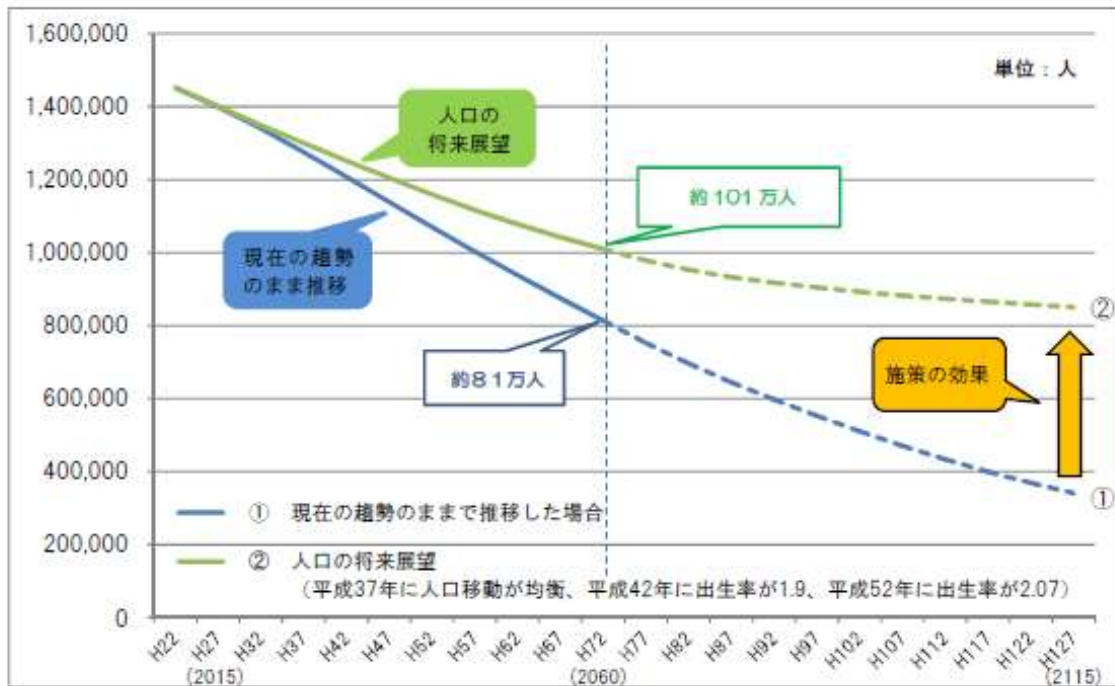
広げよ 可能性の地図、  
定めよ 羅針盤



真摯 勤勉 質実  
山口県立小野田高等学校  
校長通信（発行不定期）  
平成30年7月17日 **第4号**

## 故郷山口県の将来について考える

本県の将来人口の展望



現状の趨勢のまま推移した場合の推計①は、国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口をベースとして試算

### 今日、山口県が県政の最重要課題と考えているもの、それは人口減少問題です。

上表（出典は「山口県人口ビジョン」、2015年）をご覧ください。現在山口県の人口はおおよそ140万人ですが、自然減・社会減を食い止める抜本的な「地方創生」の施策を推進しても平成72年には101万に、しなければなんと81万人にまで落ち込むと予測されています。

日本全体で人口減少が進んでいく未来社会において、山口県もある程度の人口減少は避けられません。しかし、今日、山口県は全国平均を上回る勢いで人口減少が続いており、しかもこれに若者の県外流出・高齢化が重なり、将来的には地域社会の維持さえもが困難になること（既に県内一部の地域では生じている）が指摘されています。

山口県で生まれ育ち、現在本校で学んでいる君たちは、故郷のこの状況について、どのように考えますか。

もちろん、君たちの人生は、君たち自身で決めることです。大都市でしかできない仕事があれば、東京で働くのもよし。グローバル化の時代ですから、アメリカや中国など、世界を舞台に活躍するのもよいでしょう。しかし、君たちの人生の選択肢のなかに、「故郷で働き、故郷のために生きる」という選択肢があってもよいのではないか、と考えます。

三方が海に囲まれた山口県は自然が豊かで、明治維新など誇るべき歴史があります。多くの著名な政治家や事業家、文化人などを輩出してきた県でもあります。しかし、急激な人口

減少により活力が失われつつある現状では、山口県の将来は、かなり厳しい経済・社会状況になることが予想されるのです。

この夏休み、郷土山口県について、また故郷と自分との関わりについて、自分自ら、また家族や友人と考えてみてほしいと思います。地域の夏祭りや盆踊り、ボランティア活動等に参加して、地域の人たちと話し合ってみるのもよいのではないのでしょうか。

## クラスマッチ これぞ だんごのパワー！

君たちにはものすごいパワーがある。文化祭でそれを実感した私は、またまた君たちがもっている大きな力を思い知らされました。

7月12日（木）に開催されたクラスマッチ！猛暑をものともせず、自分のため、クラスのために、ひたむきにプレーする君たちを見て感動しました。また、試合がないとき、大声で仲間の応援をする姿も、印象に残りました。

とくに、最後のクラスマッチとなった3年生は、感慨深いものがあつたでしょう。君たちの小野田高校アルバムに、色鮮やかなクラスマッチの1頁を加えることができたのではないのでしょうか。

### 熱いプレー 温かい応援



## 3年生の夏休みは、受験の天王山

1582年6月の本能寺の変で天下人・織田信長が倒れ、明智光秀と豊臣秀吉による争いが生じました。その両者による決戦が山崎の戦いでした。勝利を取めたのは秀吉。それは、彼が、戦場を見下ろせる天王山という戦略的要衝を、光秀よりも先に制圧したからです。この故事から、勝敗や運命の重大な分かれ目を比喻する「**天王山**」という言葉が登場しました。

さて、3年生の皆さん、受験勉強は進んでいますか。3年生の夏休みはまさしく受験の天王山です。この勉強に専念できる大切な40日間をどのように過ごすか。これが受験の合否を大きく左右します。

長いようで短い夏休み。気がついたら7月が終了、盆も過ぎ、夏休みが終わっていたということにもなりかねません。なすべき学習課題を明確にして、計画を立て、しっかり集中して受験勉強に励んでください。大学見学やオープンキャンパス等に参加し、志望校への思いをさらに高めるのもよいでしょう。問題なのは、大学受験に対する「なんとかなる」、「まだ時間はある」などと考える甘い考え方です。

志望校合格をめざして脇目もふらずに進むのがこの夏休みです。そしてこの夏休みの学習成果は、確実に2学期以降の模試の成績に反映されます。

己の道は己で切り拓け！奮闘努力を期待します。

